

平成29年

# 消 防 統 計

(火災・救急・救助統計について)

救急車は  
地域の限られた救急資源



大垣消防組合消防本部

503-0933 大垣市外野3丁目20番地2

代表番号 0584-87-0119

FAX番号 0584-87-1515

# 目 次

平成29年消防統計概要 .....	1
<b>火災統計 .....</b>	<b>2～3</b>
原因別出火件数 .....	2
月別出火件数・損害額 .....	3
建物火災用途別件数 .....	3
10年間の出火原因別順位 ワースト3 .....	3
<b>救急統計 .....</b>	<b>4～5</b>
救急事故種別 .....	4
傷病程度別搬送人員 .....	5
年齢別搬送人員 .....	5
10年間の救急出動件数 .....	5
<b>救助統計 .....</b>	<b>6</b>
<b>その他の緊急出動 .....</b>	<b>6</b>

## 平成 29 年消防統計概要

平成 29 年における大垣消防組合管内 1 市 4 町《大垣市(上石津地域を除く)・神戸町・輪之内町・安八町・池田町 人口約 23 万人》の火災・救急・救助などの状況をまとめました。

調査中であった損害額及び原因別発生件数が確定しました。

### ◆ 火災統計から . . .

#### 総出火件数は 10 件の増加、建物火災は全火災の約 51%

大垣消防組合管内の出火件数は 78 件で、前年の 68 件と比べ 10 件増加しました。

組合構成市町別では、大垣市が 44 件 (5 件減少)、神戸町が 6 件(4 件増加)、輪之内町が 7 件(5 件増加)、安八町が 15 件(9 件増加)、池田町が 6 件(3 件減少)でした。

火災種別では、建物火災が 40 件で、前年の 30 件と比べ 10 件増加しました。また、車両火災が 8 件 (1 件減少)、その他の火災が 30 件(1 件増加)で、林野火災の発生はありませんでした。

建物火災のうち住宅(共同・併用住宅等含む)からの出火件数は 21 件で、建物火災件数の約 53% でした。

#### 出火原因の 1 位は「放火(疑い含む.)」、「火入れ(枯草焼き)」、次いで「たばこ」

出火原因別では「放火(疑い含む.)」及び「火入れ(枯草焼き)」が 8 件、「たばこ」が 7 件となっています。「放火(疑い含む.)」による火災は前年より 2 件減少していますが、9 年連続で出火原因の 1 位となっています。

また、近年、枯草火災やたばこが原因となった火災が多発しています。これらの火災は、一人ひとりが気を付けることで防ぐことができる火災ですので、ご協力をお願いします。

#### 火災による死者は 3 人、負傷者は 15 人

火災による焼死者は 3 人で前年と比べ変わらず、負傷者は 15 人で前年の 8 人と比べ 7 人増加しました。平成 18 年 6 月に住宅用火災警報器の設置が義務化されてから 10 年以上が経過しました。

電池式の住宅用火災警報器の電池交換の目安は約 10 年とされていますので、点検又は電池の交換をお願いします。

#### 火災による損害額は約 1 億 7 百万円

火災損害額は 1 億 661 万 5 千円となり、前年の 7,594 万 7 千円と比べ 3,066 万 8 千円増加しました。

### ◆ 救急統計から . . .

#### 救急出動件数は 181 件の減少、急病による出動件数は微増、1 日あたり約 27 件出動

大垣消防組合管内の救急出動件数は 9,795 件で、前年の 9,976 件より 181 件減少しました。これは、1 日に約 27 件の割合で救急車が出動したことになります。

救急事故種別をみますと、急病が 6,554 件(約 67%)で全出動件数の半数以上を占め、次いで一般負傷が 1,246 件(約 13%)、交通事故が 1,053 件(約 11%)の順となっています。

搬送人員は 9,470 人で、そのうち入院加療を必要としない軽症傷病者は 3,934 人(約 42%)となり、前年と比べ約 3%増加しています。今後も正しい救急車の利用のしかたについて考え、行動することを呼びかける広報を継続していきます。

### ◆ 救助統計から . . .

#### 救助出動件数は 27 件減少、前年に引き続き交通事故が半数以上

救助出動件数は 65 件で、前年の 92 件より 27 件減少となりました。

内訳をみますと、交通事故による出動が全体の 6 割を占め、次いで建物等による事故、機械による事故の順となっております。

### ◆ その他の緊急出動から . . .

大垣消防組合管内では火災・救急・救助出動以外の出動件数は 973 件で前年の 944 件に比べ 29 件増加しました。出動種別では PA 連携出動が 778 件(約 82%)で、次いで警戒出動が 131 件(約 13%)の順になっています。

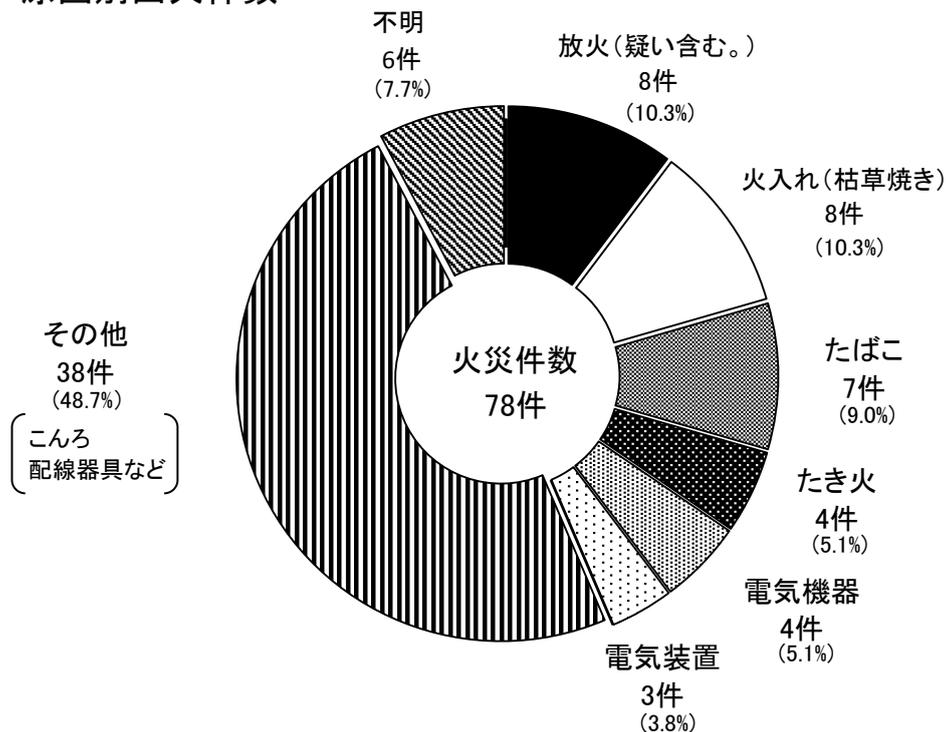
# 火災統計

区分	平成 29年 (A)	平成 28年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					
				大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	別 安 八 町	池 田 町	
出火件数	計(件)	78	68	10	44	6	7	15	6
	建物火災	40	30	10	26	5	1	5	3
	林野火災	0	0	0	-	-	-	-	-
	車両火災	8	9	△1	5	-	1	2	-
	その他の火災	30	29	1	13	1	5	8	3
焼損棟数	計(棟)	48	38	10	34	5	1	5	3
	全 焼	8	6	2	4	-	1	2	1
	半 焼	1	2	△1	1	-	-	-	-
	部分焼	8	13	△5	7	1	-	-	-
	ぼ や	31	17	14	22	4	-	3	2
焼損面積	床面積(m <sup>2</sup> )	1,511	1,219	292	947	2	126	354	82
	表面積(m <sup>2</sup> )	1,738	56	1682	1,738	-	-	-	-
	林 野(a)	0	0	0	-	-	-	-	-
り災世帯数(世帯)	23	21	2	16	1	1	4	1	
り 災 人 員(人)	65	61	4	44	1	4	13	3	
損 害 額(千円)	106,615	75,947	30,668	71,564	278	2,774	30,389	1,610	
死傷者(人)	死者	3	3	0	2	-	1	-	-
	傷者	15	8	7	13	-	1	-	1

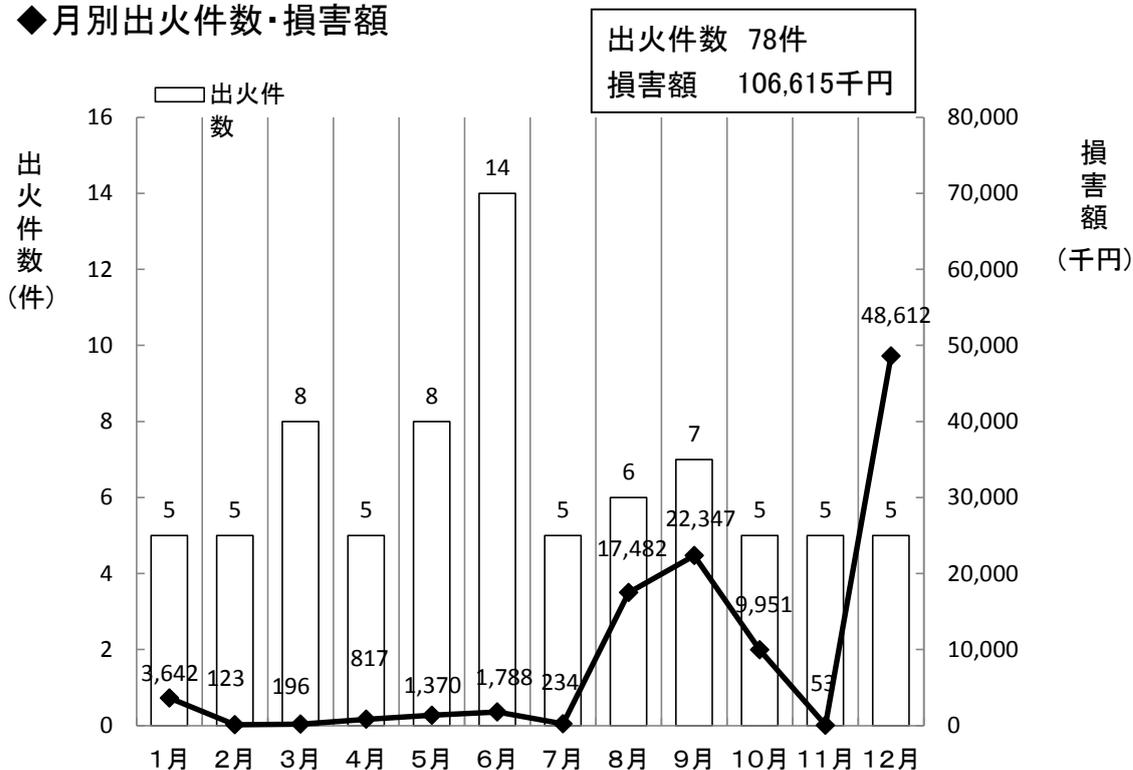
(△は負数を表す)

1 日 平 均 火 災 件 数 …… 約0.21件 (5日に約1件)  
 1 日 平 均 火 災 損 害 額 …… 約29万円  
 火災1件あたりの平均損害額 …… 約137万円  
 建物火災1件あたりの焼損床面積 …… 約37.8m<sup>2</sup>

## ◆ 原因別出火件数



◆月別出火件数・損害額



◆ 建物火災用途別件数

用途	住宅部分を含む用途			住宅部分を含まない用途		
	専用住宅	共同住宅	併用住宅等	工場	倉庫・物置・車庫	その他
件数 (件)	18	0	3	12	2	5

※ 出火件数78件のうち、建物火災は40件

◆ 10年間の出火原因別順位 ワースト3

年別順位	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
1位	たばこ 10件	放火(疑い含む) 12件	放火(疑い含む) 18件	放火(疑い含む) 17件	放火(疑い含む) 14件	放火(疑い含む) 17件	放火(疑い含む) 16件	こんろ 放火(疑い含む) 10件	放火(疑い含む) 10件	放火(疑い含む) 火入れ(枯草焼き) 7件
2位	放火(疑い含む) 9件	たばこ 8件	たばこ 7件	こんろ 7件	こんろ たばこ 各5件	たばこ 11件	たばこ 火入れ 各7件	電気・電話等の配線 火入れ(枯草焼き) 各7件	電気・電話等の配線 火入れ(枯草焼き) 各7件	各8件
3位	こんろ 7件	こんろ 7件	こんろ 6件	火遊び 6件	電気装置 6件	電気装置 6件	電気・電話等の配線 各7件	火入れ(枯草焼き) 配線器具 各5件	たばこ 各6件	たばこ 7件
管内 総出火件数	70件	72件	83件	76件	62件	81件	82件	83件	68件	78件

# 救急統計

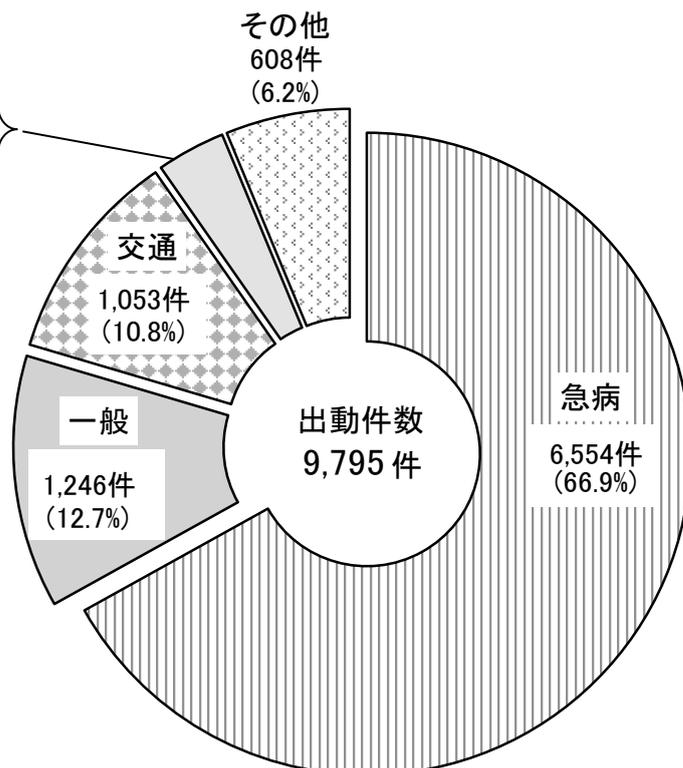
区分 件数 種別 人員	平成 29年 (A)	平成 28年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					高 速 道 路	管 外
				大 垣 市	神 戸 町	輪 之内 町	安 八 町	池 田 町		
火災	38	41	△ 3	26	1	4	5	2	-	-
搬送人員	14	5	9	11	-	2	-	1	-	-
自然	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
搬送人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
水難	2	3	△ 1	2	-	-	-	-	-	-
搬送人員	1	2	△ 1	1	-	-	-	-	-	-
交通	1,053	1,062	△ 9	688	97	64	99	85	17	3
搬送人員	1,198	1,228	△ 30	775	107	68	124	97	26	1
労災	102	105	△ 3	56	10	10	15	11	-	-
搬送人員	103	106	△ 3	55	10	10	16	12	-	-
運動	84	119	△ 35	72	4	3	4	1	-	-
搬送人員	90	133	△ 43	78	4	3	4	1	-	-
一般	1,246	1,297	△ 51	975	68	41	61	100	-	1
搬送人員	1,214	1,265	△ 51	952	66	41	59	95	-	1
加害	30	24	6	20	3	2	4	1	-	-
搬送人員	28	22	6	18	4	2	3	1	-	-
自損	78	83	△ 5	54	9	4	5	6	-	-
搬送人員	53	66	△ 13	42	4	3	2	2	-	-
急病	6,554	6,533	21	4,835	522	248	356	589	4	-
搬送人員	6,291	6,265	26	4,642	494	238	345	568	4	-
その他	608	709	△ 101	465	36	32	25	50	-	-
搬送人員	478	559	△ 81	365	26	28	20	39	-	-
合計	9,795	9,976	△ 181	7,193	750	408	574	845	21	4
搬送人員	9,470	9,651	△ 181	6,939	715	395	573	816	30	2
不搬送	550	580	△ 30	391	56	24	30	46	1	2

(△は負数を表す)

1日平均出動件数……………約27件

## ◆ 救急事故種別

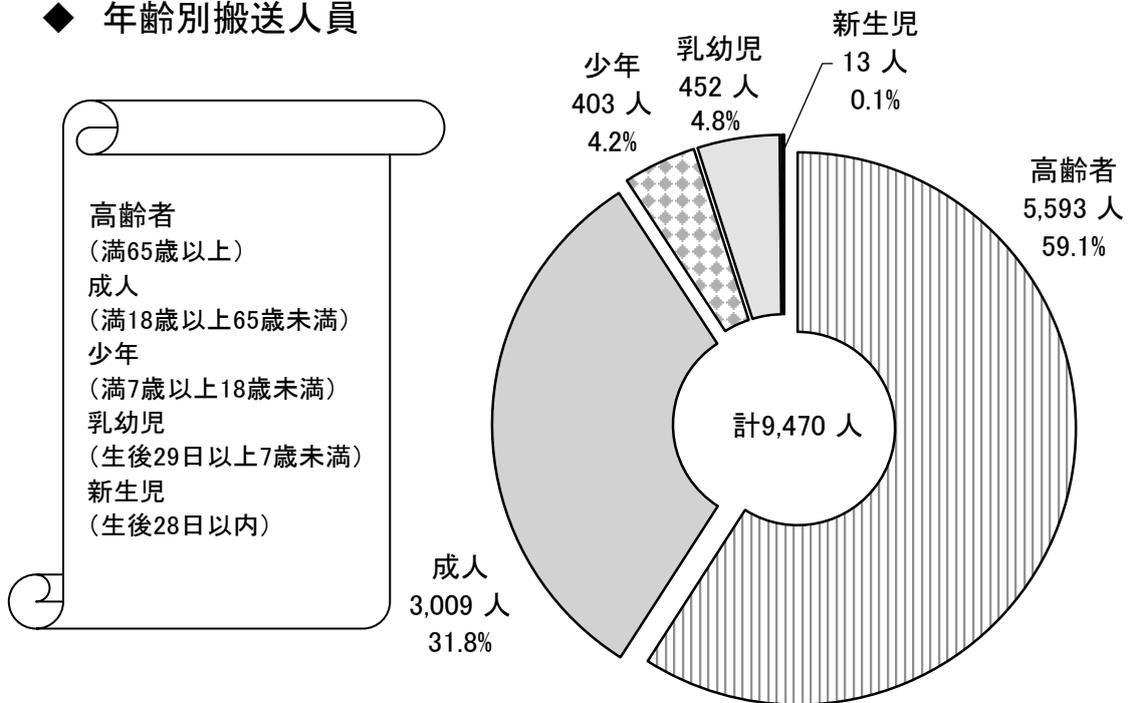
労災	102件
運動	84件
自損	78件
火災	38件
加害	30件
水難	2件
自然	0件
合計	334件 (3.4%)



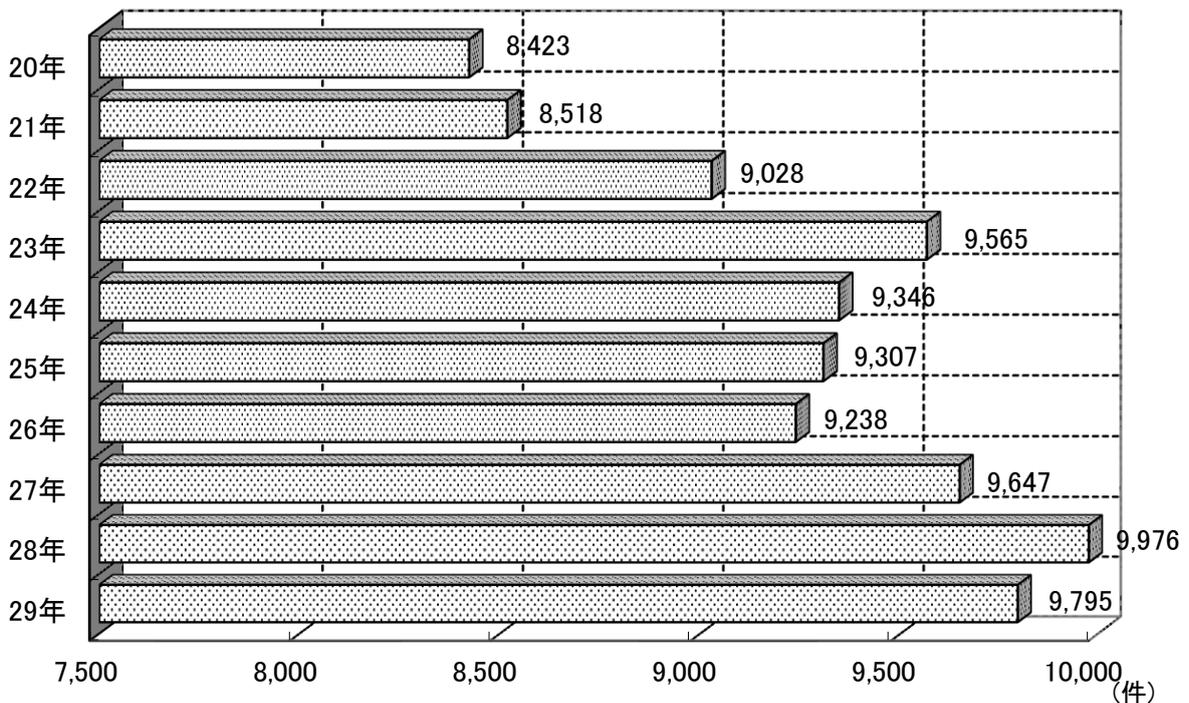
◆ 傷病程度別搬送人員

軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
3,934 人	4,626 人	885 人	25 人	0 人	9,470 人
41.5%	48.9%	9.3%	0.3%	0.0%	100.0%

◆ 年齢別搬送人員



◆ 10年間の救急出動件数



# 救助統計

種別	区分 件数 人員	平成 29年 (A)	平成 28年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					高 速 道 路	管 外
					大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町		
火 災	建物	2	1	1	2	-	-	-	-	-	-
	救助人員	2	2	0	2	-	-	-	-	-	-
建物以外	出動件数	0	1	△1	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	出動件数	39	51	△12	15	9	6	3	3	3	-
	救助人員	32	44	△12	14	7	1	2	6	2	-
水難事故	出動件数	2	6	△4	2	-	-	-	-	-	-
	救助人員	1	3	△2	1	-	-	-	-	-	-
自然災害事故	出動件数	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
機械による事故	出動件数	3	3	0	1	1	-	1	-	-	-
	救助人員	1	3	△2	-	-	-	1	-	-	-
建物等による事故	出動件数	7	15	△8	4	-	-	1	2	-	-
	救助人員	5	18	△13	3	-	-	-	2	-	-
ガス及び酸欠事故	出動件数	0	1	△1	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	0	1	△1	-	-	-	-	-	-	-
破裂事故	出動件数	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
その他の事故	出動件数	12	14	△2	9	-	-	1	2	-	-
	救助人員	10	10	0	8	-	-	1	1	-	-
合 計	出動件数	65	92	△27	33	10	6	6	7	3	-
	救助人員	51	81	△30	28	7	1	4	9	2	-

(△は負数を表す)

1 日 平 均 出 動 件 数……………約0.178件 (6日に約1件)

## その他の緊急出動

区 分	平成 29年 (A)	平成 28年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					高 速 道 路	管 外
				大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町		
警 戒 出 動	131	129	2	82	11	11	16	11	-	-
調 査 出 動	4	9	△5	2	-	-	-	2	-	-
誤 報 出 動	53	72	△19	43	1	2	1	6	-	-
虚 報 出 動	0	1	△1	-	-	-	-	-	-	-
応 援 出 動	5	13	△8	-	-	-	-	-	-	5
P A 連 携 出 動	778	704	74	545	60	46	56	64	6	1
そ の 他 の 出 動	2	16	△14	-	-	-	-	2	-	-
合 計	973	944	29	672	72	59	73	85	6	6

(△は負数を表す)

1 日 平 均 出 動 件 数……………約3件

- 警 戒 出 動 …… 火災と紛らわしい通報やたき火等で警戒を必要とするもの
- 調 査 出 動 …… 警戒の必要がなく、調査のみ実施する場合
- 誤 報 出 動 …… 火災と間違えて通報されたもの
- 虚 報 出 動 …… 火災の事実がないのに火災と通報されたもの
- 応 援 出 動 …… 管轄外で災害が発生した場合、応援協定に基づいて出動するもの
- P A 連 携 出 動 …… 救急隊の支援を目的とするもの
- そ の 他 の 出 動 …… 上記以外で行方不明者の捜索活動や動物の救出活動など

# 点検していますか？ 住宅用火災警報器！

～設置後10年が経過した電池式の住宅用火災警報器はありませんか？～

## ～電池式の住宅用火災警報器の点検を！～



電池式の住宅用火災警報器の電池交換の目安は、約10年と言われています。

設置してから10年が経過している住宅用火災警報器は、点検又は電池の交換を行ってください。

なお、消防署が点検や電池交換を業者に委託することはありませんので、悪質な訪問業者には十分ご注意ください。

## ～未設置の場合は、早期設置を！～

平成23年6月から、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されました。

住宅用火災警報器は、火災の早期発見につながる非常に有効なものですので、設置されていない住宅は、早急に設置してください。

平成29年度 全国統一防火標語

火の用心 ことばを形に 習慣に

消防情報 (テレホンサービス)

救急GO!それ1、2!  
<0180>995-012 火災の問合せ等